

長島観光開発株式会社

ナガシマリゾート/三重県桑名市

長島観光開発株式会社は、「安全・清潔・サービス」を基本理念に、「自然を大切に健やかな遊びを提供することにより、働く人々の心のやすらぎと明日への活力を取戻していただくこと」を社会的使命とし、常にお客さまのニーズをとらえたレジャー事業を積極的に展開されています。

国内はもとより、海外からも絶叫マシン愛好家が訪れるアミューズメント施設である「ナガシマスパーランド」を中心としたナガシマリゾートは、国内有数の総合レジャー施設です。その広大な敷地には、夏に開設される屋外海水プールや日帰り温泉施設、アウトレットモール、花とみどりとイルミネーションを楽しめる施設といったアミューズメント施設に加え、3棟のホテルを併設するなどさまざまな施設を擁した、四季を通じてお子様から大人まで3世代で楽しむことができる、一大リゾート地として活況を呈しています。



ナガシマリゾート 全景

補助事業の概要

- 導入設備: 停電対応型CGS 1,900kW×2台
- 補助金額: 255,000千円

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

長島観光開発株式会社 総務部 総務課 伊藤 真仁様

ナガシマリゾートは過去に数々の災害に見舞われてきた地域に位置しており、直近では、平成30年に4つもの台風の直撃を受け、当施設においても大きな被害に遭いました。当社では、こうした地域特性や過去の経験則を踏まえ、また、多くの人に訪れていただくレジャー施設として担っている責務を果たすべく、常時より地域防災力向上に貢献すべく活動に取り組んできました。

今回、大規模災害等に備えた地域電力の安定供給や電力需要の平準化に資する取り組みとして、有事にナガシマリゾート全体で使用するピーク時電力量をほぼ全量賄える体制を目指し、既存の自家発電設備を増強する形で大型CGSを導入する計画を検討するに至りました。

検討にあたり大きな課題となったのは、CGSの排熱利用用途。排熱需要施設までの配管工事が物理的かつ経済的に極めて難しい状況にありましたが、関係各者と検討に検討を重ねた結果、排温水を利用した高効率バイナリー発電機を用いたシステムとし、同機をCGS近傍に設置することで解決をみました。また、当補助金の活用により初期投資を大幅に抑制することができたことも、事業推進の大きな後押しとなりました。

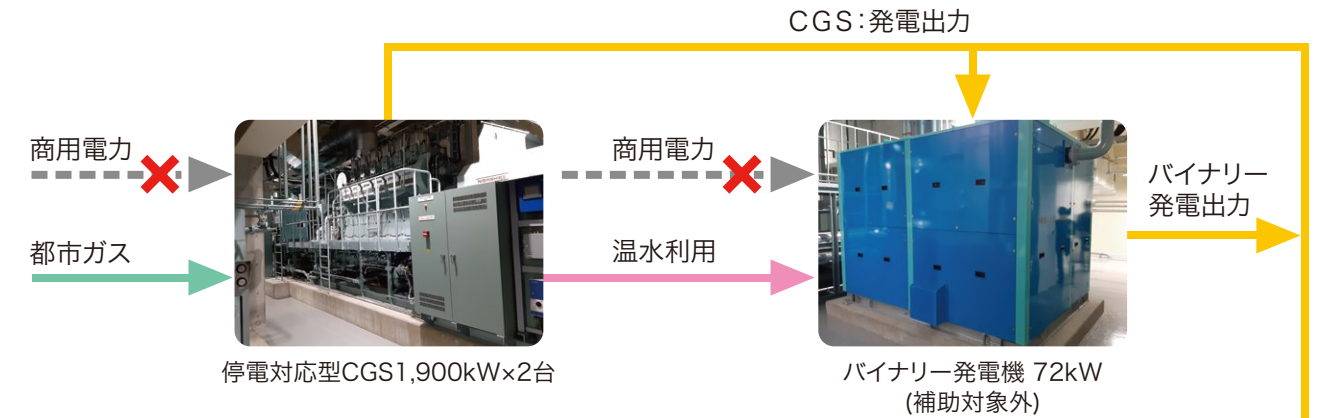
CGSの導入により、自治体の避難所に指定されている各ホテルと日帰り温泉施設において、非常時に電力負荷の大部分を補うことができるようになったとともに、ナガシマスパーランド内の施設にも給電できる体制が整い、災害時の対応力が向上したものと自負しております。また、自治体からも、地域住民のみならず大勢の来場者に対する体制が強化されたことは、大きな安心につながる、と高く評価いただいております。

今後は、今回のCGS導入による効果・それに伴う体制に満足することなく、想定を超える頻度と苛烈さを見せる災害に対して、所有する敷地と各種施設・設備を効果的に活用した防災計画を、自治体と連携して進めていくとともに、CO2削減といった環境問題にも積極的に取り組んで参りたいと考えています。

災害時にも貢献するエネルギーシステム

停電時

- ✓ 停電対応型CGSで発電した電力をナガシマリゾート内の各施設へ給電
各ホテルや温泉施設の運営に必要な電力負荷の大部分を補える



主な給電先



湯あみの島

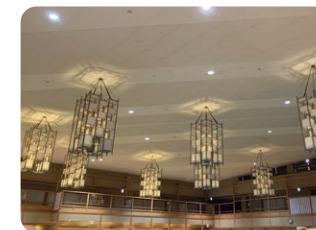


ホテル花水木



ホテル花水木

災害時における施設の機能



照明/湯あみの島



避難スペース/湯あみの島

- CGSで発電した電力を各施設へ給電

- 最大で3,000人の避難者を受け入れ
- 照明・空調・温浴・トイレ等さまざまなサービスを提供し、避難者の生活を支援する

事業者様の取り組み

ナガシマリゾート内にある温泉施設(湯あみの島)は、桑名市指定避難所であり(協定締結:平成21年6月)災害時は約3,000人を受け入れることが可能です。空調、照明、温浴、トイレ等、災害時であっても平時と同様に各設備を継続利用できる他、備蓄物資の提供も可能となっています。また状況によって、リゾート内のホテル群でも避難者を受け入れることが可能な体制を整備されています。

今回導入されたCGSは、南海トラフ巨大地震発生時の浸水想定より高い場所に設置したことで、大規模災害に対する事業継続性が一層強化されました。なお、CGS建屋の一部は資材・物資等を備蓄する防災倉庫としても活用していく予定です。